



# JA伊勢の 「自己改革」

自己改革取組成果報告(平成28年度～平成30年度)

JA伊勢は、経営理念「地域の皆さまとともに」JA伊勢はいつも一所懸命ですのもと、地域の方々と互いに手を取り、支え合い、助け合って食と農を基軸とした様々な活動を行っています。



つなぐ手に 広がる未来 地域の輪

 **JA伊勢**

〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 1858 番地  
TEL:0596-62-1125 (代) FAX:0596-62-1126  
ホームページ: <https://www.jaise.jp/>

つなぐ手に 広がる未来 地域の輪

 **JA伊勢**

# 「なくてはならないJA」を目指して

- P1 はじめに  
JA伊勢の使命・経営理念
- P2 JA総合事業と  
准組合員制度の  
意義・必要性
- P3 「自己改革」の  
取組成果
- P9 第11次中期経営  
計画における自己  
改革の取組み

## はじめに

日本の農業や生活環境は時代の移り変わりとともに大きく様変わりしており、特に地方においては、人口減少・超高齢社会の到来による農業生産や地域社会の基盤の脆弱化への対応などが喫緊の課題となっています。

このような情勢の中、全国のJAでは「地域農業」・「地域社会」の未来に向け、「自己改革」に一所懸命に取り組んできました。

平成31年4月1日には、将来にわたり組合員や利用者の皆さまが安心して事業利用できるJAを目指し、JA伊勢・JA鳥羽志摩・JA三重南紀が合併し、新たな「JA伊勢」がスタートしました。

この冊子は、「農協改革集中推進期間」を終えた今、これまでJA伊勢・JA鳥羽志摩・JA三重南紀が行ってきた自己改革の取組みを振り返り、その成果を皆さまに知っていただくために作成しました。

今後も新たなJAとして、組合員の皆さまが「わたしたちのJA」として参加・参画していただけるよう、これまでの「農業者の所得増大と農業生産の拡大」の取組みに一層力強く踏み込み、組合員・利用者・地域住民の皆さまとともに「地域の活性化」に尽力し、「組織基盤の強化と経営基盤の確立」を実現するよう、引き続き不断の改革に取り組んでまいります。

## JA伊勢の使命・経営理念

### 使命

- ① 組合員及び地域の皆さまの生活を守る
- ② 農業の振興
- ③ 社会貢献を行う組織と人づくり

### 経営理念

地域の皆さまとともにJA伊勢はいつも一所懸命です

## JA総合事業と准組合員制度の意義・必要性

令和元年5月までとされた「農協改革集中推進期間」を終えて、政府は、改正農協法施行から5年以内（令和3年3月まで）に、『准組合員制度のあり方』の結論を出す予定です。『准組合員制度のあり方』の検討は、『准組合員の事業利用規制』に直結するものです。

正組合員のみならず、准組合員のJA利用がJAの経営基盤を安定させ、組合員の「農業」と「暮らし」を支えることに繋がります。

JA伊勢は、全国のJAとともに「JAの自己改革に関する組合員アンケート」調査を通して、組合員の皆さまから【JA総合事業の継続】と【准組合員制度の必要性】への理解の声を集めています。

## 農業振興・地域社会への貢献には【JA総合事業の継続】が必要！

農業関連事業だけを見ると収支状況は厳しくはありますが、信用事業や共済事業などを含めた総合事業だからこそ、組合員の営農をお手伝いする営農指導員の配置や、農業施設への投資を実現しています。



### 営農指導事業

営農相談・提案、  
農業経営支援など  
の営農指導



### 農業関連事業

農畜産物販売事業、  
生産資材購買事業  
など



### 生活関連事業

高齢者福祉事業、  
葬祭事業、旅行事業  
など

## 総合事業



### 共済事業

生命共済、建物更生共済、  
自動車共済など、農業や  
暮らしに関する共済



### 信用事業

貯金、農業融資、住宅ローン  
など、農業や暮らしに  
関する金融

## 「自己改革」の取組成果

### 1 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取組み

#### 農業者の意見を事業に反映

##### Action 1 常勤役員と営農・経済担当職員による農家訪問

###### 伊勢

農業者の意見や要望等をJA事業に反映するため、常勤役員と営農・経済担当職員らが農家を訪問して対話をし、直接意見を聞く取組みを行いました。



(累計)

指標	27年度	28年度	29年度	30年度
訪問件数	—	43件	227件	<b>384件</b>

#### 産地後継者を育成・支援

##### Action 2 子会社等を活用した産地後継者づくりの取組拡充

###### 伊勢 三重南紀

子会社(株)あぐりん伊勢で産地後継者の育成を目的に、青ねぎ栽培で2年後の就農を希望する社員を雇用し、新規就農の支援を行い、平成30年度末で累計7人が就農するとともに平成30年度からイチゴ栽培も開始しました。



また、子会社(株)オレンジアグリでは、ミカン農家を目指す方を研修生として受け入れ、平成30年度末で累計2人が就農しました。

(累計)

指標	27年度	28年度	29年度	30年度
(株)あぐりん伊勢新規就農者数	3人	4人	5人	<b>7人</b>
(株)オレンジアグリ新規就農者数	—	—	0人	<b>2人</b>

##### Action 3 行政との連携や管内施設を利用した後継者づくり

###### 鳥羽志摩

志摩市が委嘱した「地域おこし協力隊」の活動支援に取り組み、農業研修やイチゴの生産指導などを通じて活動を後押ししました。

また、1年間を通してほ場での栽培だけでなく出荷、販売、加工までも学ぶ農業塾「なごみ」を開講しました。



(累計)

指標	27年度	28年度	29年度	30年度
地域おこし協力隊受入人数	—	—	1人	<b>2人</b>
農業塾「なごみ」受講人数	4人	5人	9人	<b>11人</b>

## 農家の所得を確保

##### Action 4 水稻の所得補完作物と業務用米を推進

###### 伊勢

水稻生産者に所得補完作物としてキャベツ、サツマイモ等を推進し、所得の確保を実現しました。また、水稻生産者の所得向上と経営安定を目的に、平成29年度から業務用米の試験栽培を推進しました。



(累計)

指標	27年度	28年度	29年度	30年度
キャベツ栽培面積	2.5ha	5.4ha	8.8ha	<b>14.0ha</b>
サツマイモ栽培面積	—	1.0ha	2.6ha	<b>2.9ha</b>
業務用米栽培面積	—	—	2.8ha	<b>40ha</b>

##### Action 5 ミカンを海外へ輸出

###### 三重南紀

販路拡大を目指し、タイ王国へのミカン輸出ではこれまでの富裕層向けに加え、平成29年度から中間層向けの輸出を開始しました。

(単年計)

指標	27年度	28年度	29年度	30年度
輸出货量	12.6t	11.5t	26.7t	<b>43.0t</b>
輸出金額	6,510千円	7,438千円	16,905千円	<b>22,520千円</b>



##### Action 6 新たな加工品の開発および多様な販売先の開拓による農家所得の確保

###### 伊勢

農家所得の確保を目指し、規格外品を活用した新たな加工品の開発と産学官・農商工連携強化の取組みとして地元高校や大学、行政・企業と連携し、開発・研究をすすめました。

(累計)

指標	27年度	28年度	29年度	30年度
加工品品目数	5品	7品	7品	<b>8品</b>

###### 鳥羽志摩

新たな加工品として、船越みそを使ったあられ等を開発し、鳥羽志摩ブランドの知名度向上を図りました。

また、こだわりの農畜産物を販売する「日替わりファーマーズマーケットHATAKE」をオープンしました。

(単年計)

指標	27年度	28年度	29年度	30年度
HATAKE利用者数	—	—	2,804人	<b>2,729人</b>



###### 三重南紀

宝酒造(株)の「寶 CRAFT 伊勢路マイヤーレモン」、山崎製パン(株)の「ホワイトナイススティック レモンジャム&レモンクリーム」等の原材料として管内産マイヤーレモンを提供し、管内柑橘のPRに取り組まれました。



## 農産物の品質向上と生産コストの削減に向けた取組み

### Action 7 土壤診断を推進

伊 勢

水稻生産者のほか、平成 29 年度からは露地野菜等の生産者も対象に無料土壌診断を推進し、土壌診断の結果を基に施肥や肥料の改善提案を行い、農産物の品質向上と肥料にかかるコスト削減に取り組みました。



(単年計)

指標	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
土壌分析診断件数	285 件	502 件	1,265 件	<b>1,429 件</b>

### Action 8 物流コスト削減等による生産資材価格低減の取組み

伊 勢 鳥羽志摩 三重南紀

肥料や農薬などの生産資材を 1 円でも安価に提供できるように、一括仕入れによる物流コスト削減の取組みや、銘柄集約によるスケールメリットの創出等に取り組みました。

#### 主な価格低減実績

※ JA 伊勢の実績



<農薬>  
ゼータタイガー  
ジャンボ (10a 用)  
近隣 JA との連携による  
スケールメリットの創出  
に取り組んだ結果…

平成27年度と  
比較して  
**約 19%  
低減**

<土壌改良材>  
苦土石灰 (粒)  
一括仕入れによる物流コスト  
削減に取り組んだ結果…

平成27年度と  
比較して  
**約 14%  
低減**

### Action 10 無料職業紹介事業による農家の作業負担削減

三重南紀

御浜町と連携して無料職業紹介所を開設し、求職者窓口として農繁期の人手を確保したい農家の作業負担削減に取り組みました。



(単年計)

指標	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
アルバイト数	—	—	16 名	<b>19 名</b>
利用農家数	—	—	8 戸	<b>13 戸</b>

## 「食」と「農」の理解を深める

### Action 11 消費者や学校等を対象に食育・農業体験を実施

伊 勢

消費者を対象とした収穫体験のほか、栽培・収穫・流通まで学べる「親子野菜塾」や、管内学校と連携した活動を行いました。



(単年計)

指標	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
食農体験参加人数	801 人	1,918 人	2,618 人	<b>2,222 人</b>

鳥羽志摩

管内の小学 3・4 年生を対象にあぐりスクールを開催し、農業体験を通じて「収穫の喜び」や「自然・いのち・食べ物」の大切さを学ぶ活動を行いました。



三重南紀

管内小学校児童を対象にサツマイモの植付から収穫体験までを通じて「食」への関心を高め、「農」の役割の大切さを学ぶ活動を行いました。

### Action 9 農機具レンタル事業による生産コスト削減の取組み

伊 勢

平成 29 年度から、生産者の農業機械購入コストを削減することなどを目的に、農機具レンタル事業を開始しました。

#### 主なレンタル対象農機



管理機  
(6馬力)

トラクター  
(25馬力キャビン付)

ブランドソーワ

### Action 12 学校給食に地元食材を提供し安全・安心な食材を P R

鳥羽志摩

断面が星形に見える三重オクラを地元学校給食に提供し「七夕にオクラを食べよう」P R キャンペーンを実施するなど、安全・安心な地元食材を P R しました。



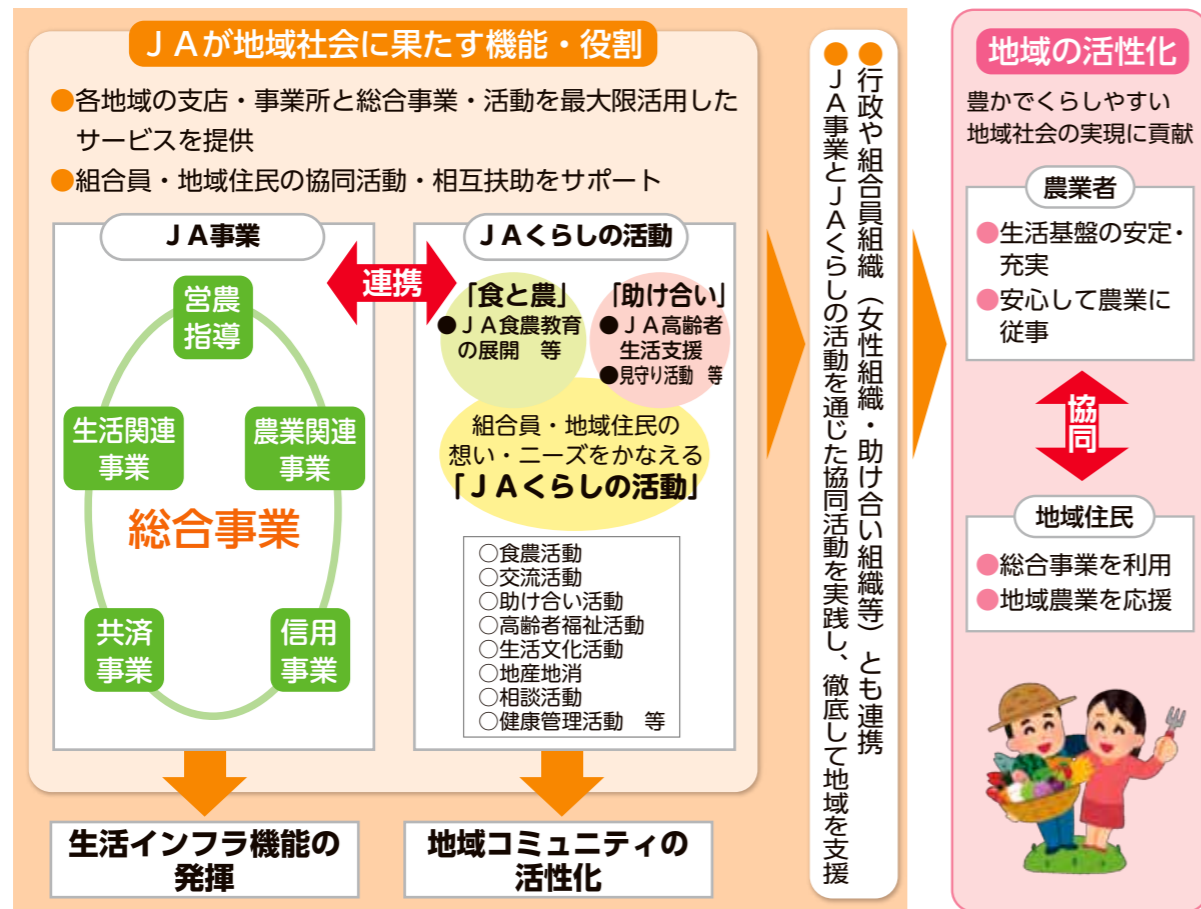
(単年計)

指標	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
オクラ提供量	10 キロ	27 キロ	30 キロ	<b>31 キロ</b>

## 2 総合力発揮による「地域の活性化」への取組み

JAグループは、行政や企業にはない総合事業と、組合員および地域の皆さまがくらしの中で感じた様々な想いやニーズを実現する「JAくらしの活動」にかかる取組みを積極的に展開することで、組織基盤を強化し、協同の輪を広げて、豊かでくらしやすい地域社会の実現を目指しています。

JA伊勢は、農業振興や地域振興を促進するために、農業の多面的機能発揮に向け農業者と地域住民が一体となった協同活動を展開し、「地域の活性化」に貢献していきます。



### Action 14 「移動金融バス」で農業と地域・利用者を繋ぐ金融サービスを提供

#### 三重南紀

新型金融移動店舗車を導入し、熊野市・御浜町・紀宝町の10地区を巡回して出向く金融サービスを提供しました。



### JAくらしの活動による地域コミュニティの活性化

#### Action 15 組合員および地域の皆さまに親しまれ地域の拠点として貢献していく取組み

#### 伊勢 鳥羽志摩

平成27年度から「1支店等1協同活動」を実施するなど、元気な地域づくりとともにJAの共感者づくりに取り組みました。



(単年計)

指標	27年度	28年度	29年度	30年度
活動数	—	27活動	26活動	<b>25活動</b>
組合員参画人数	—	153人	156人	<b>130人</b>

※JA伊勢の実績

#### 鳥羽志摩

平成30年9月から、女性部鳥羽支部が中心となって鳥羽支店の空きスペースを利用した朝市「わのわ市」を開催。また、平成31年3月からは女性部浜島支部が中心となって朝市「あるがまま市」を開催し、地域のよりどころとして地域活性化に取り組んでいます。



(単年計)

指標	27年度	28年度	29年度	30年度
わのわ市開催回数	—	—	—	<b>7回</b>
あるがまま市開催回数	—	—	—	<b>1回</b>

### 鳥羽マルシェが「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」優良事例に選定！

内閣府と農水省が「強い農林水産業」「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、「農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上」に取り組んでいる優良事例を選定する「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に、鳥羽マルシェが選ばれました。



※鳥羽マルシェ：鳥羽磯部漁協と共同出資し、農水産物等の価格低迷や後継者不足等の課題解決に向け設立した有限責任事業組合が運営する直売所。農協と漁協が一体的に施設運営を行う農水産物直売所は全国でも少ない。

### JA総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮

#### Action 13 高齢者等への安全・安心感の提供

#### 伊勢 鳥羽志摩 三重南紀

「地域の活性化」の実現と地域づくりの一翼を担うことを目的に、「地域見守り活動に関する協定」を管内全行政と締結しました。

この協定では、職員が各ご家庭を訪問する際や店舗来店時等に、異変に気付いた時に行政や地域包括支援センター等へ連絡を行うことが盛り込まれており、現在この協定に沿って取り組んでいます。

## 第11次中期経営計画における自己改革の取組み

基本目標に「農業者の所得増大と農業生産の拡大」「地域の活性化」「組織基盤の強化と経営基盤の確立」を掲げ、地域の農業とくらしに“なくてはならない”JAとなるよう、さらなる自己改革に取り組めます。

### ●「農業者の所得増大と農業生産の拡大」

#### ①農業者の収穫量及び規模の拡大



収量向上及び安定出荷のための技術試験及び営農指導の実施



援農支援システムの検討を進めて農家の規模拡大を支援

#### ②出荷物の販売単価及び品質の向上



新たなブランド米の試験と確立



既存輸出品の拡大と新たな品目の検討実施



GAPの取得支援

#### ③農業者の生産コスト低減・効率化



スマート農業の研究実施



農機具レンタル事業の拡大に取り組むとともに未実施地域での事業化を検討

#### ④新たな就農者・担い手組織・集落営農の創出



子会社を核とした新規就農支援の継続と拡充



産直市場及び野菜塾等を核とした多彩な生産者育成

#### ⑤営農事業におけるサービス向上と収支改善



共同利用施設のサービス向上と効率化運営



「出向きと対話」を継続・強化し、担い手経営体・中核担い手、地域との相互理解を深める

### ●「地域の活性化」と「組織基盤の強化と経営基盤の確立」

#### ①地域および学校教育と連携した食育活動の実施



地域の親子を対象とした「食と農の体験教室」を実施

#### ②総合事業を活かした組合員組織・地域住民との協同活動の強化



組合員・地域住民とともに「1支店等1協同活動」を実施

#### ③組合員等のニーズを喚起・把握・共有・意思反映できる組織運営のしくみ充実



組合員や利用者からの意見を組織内で共有し事業の改善や計画に反映

#### ④組合員との徹底した話し合いによる組織運営の実現



組合員との話し合いを行い、多くの意見・要望を収集